″赤ちゃん堂々入賞″

去る六月二十七日、八日市場保健所管内赤ちゃんコンクールが同保健所講堂で行なわれ、十二人の入賞者のうち光町で五人が入賞しました。氏名は次の通りです。（入賞順位はありません）

日吉地区　今井健一ちゃん（静枝さん）
″　鈴木喜美代ちゃん（みつ江さん）
東陽地区　越川利勝ちゃん（勝子さん）
″　布施　浩ちゃん（たきさん）
白浜地区　佐藤和好ちゃん（千恵子さん）
″　伊藤和子ちゃん（あや子さん）
″　小川みゆきちゃん（良子さん）

【赤ちゃんコンクール表彰式】

またこれとは別に、町での赤ちゃんコンクールも開かれ男の子では篠原の竹内均ちゃん（哲子さん）はじめ5人の赤ちゃんが、女の子では長塚の小川みゆきちゃん（良子さん）をはじめ5人の赤ちゃんが入賞し表彰されました。

（　）内はお母さんのお名前です。

″夏休み″

＝学校から家庭へお願い＝

夏休みももう半ば。暑い最中のしかもいろいろ行事の多い夏休み中に、生徒に事故の起らぬよう、生徒が教育から置き去りにならぬように、町内小中学校の生活指導主任会議の結果つぎのことを学校と家庭がじゅうぶんれんらくして守ろうと申し合わせました。御家庭でも、こども達の幸福のためぜひ御協力下さい。

㈠水泳事故防止対策

1　栗山川の水泳　保健所の水質検査により水泳禁止の区域には「水泳禁止区域」（ここでおよいではいけません）の札を立てますが御協力下さい。

2　沼での水泳　いづれの沼も水質は極めて悪いので沼では泳がぬこと。

3　海水浴　必ず保護者同伴のこと。（有線放送により海の状況放送をしていますからじゅうぶん注意すること。）

4　水泳許可時間　午前十時から午後四時まで昼食後三〇分間は泳がないこと。

5　下校途中では泳がないこと。

㈡不良化防止対策

1　映画館へは必ず保護者同伴で夜の映画は禁止する。

2　不良のたまり場と思われるところへは近寄らせないこと。

3　野荒しは、簡単に法律違犯の観念を作り出すので絶対にさせないこと。

㈢夜間外出

1　単独或は友人だけとの夜間外出は厳禁。

2　近隣へテレビ等見に行くときは保護者同伴のこと。

㈣その他の事故防止

1　交通事故防止　路上で遊戯、キャッチボール等しない。

2　花火類について　小学校（家庭で線香花火を楽しむ程度のほか、どんな花火もしない）中学校（中学生は火薬類加工のおそれがあるので、どんな花火、火薬類もあつかうことを禁止する）

3　刄物について　鉛筆削りでも、身につけては外出しないこと。

㈤学習時間をよりよく過させるために

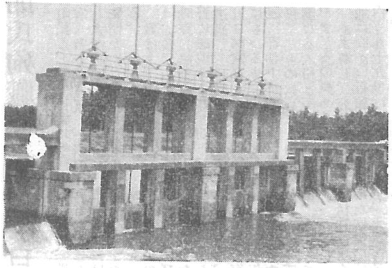
午前九時までは、家庭で学習し、友だちどう、問し合わぬこと。

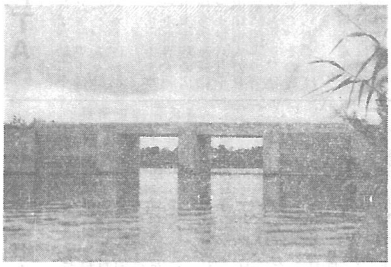
㈥特別行事について

夏休みを中心に、町内でいろいろな行事が行われます。

これには小、中学校からも監視の職員を派遣しますが、各御家庭でも、こども達の夜間単独行動や、不良化の恐それのある行動をさせぬよう強く御協力ください。

夏休み中の行動如何によって二学期の学力、体力、性行等にいろいろな結果が表われやがてはこども達の一生涯の人格形成に重大な影響を及ぼすことを深く御考察願います。


木　戸　堰


篠　本　堰

木戸・篠本の両堰完成

木戸堰

木戸地先栗山川下流の木戸堰は、大正十三年作られたものであり、先年のチリ津波により大波されたが今回木戸、横芝町、屋形その他関係沿岸部落によって、栗山川下流沿岸土地改良区（理事長椎名真一）が結成され総工費一二〇万円澗間組請負によって三ケ月の日時と、地元民延四〇〇人の労力奉仕もあって完備された堰が六月七日竣工した。

篠本堰

栗山川上流篠本地先十四号線用水取入口に、防水堰が築かれた。

総工費一二〇万円、升ノ内組請負、工事責任者鈴木喜代司である。

篠本二区、三区、新井部落は年々の秋の台風毎に栗山川より流入する外水により水稲に甚大な被害をうけていたので、今回防水組合長堀越謙治氏外組合員の努力によりこの築堰工事が完成されたものである。

消防団本部の
火の見鉄塔完成

懸案であった、消防団本部の火の見鉄塔が七月二十三日完成した。

工事は旭市、技研工業社の製作で四脚四十八尺で役場敷地の一隅に建設された。なお本部白浜三輪車ポンプにも、三脚三十六尺のものが作られた。

消防の重要性を叫ばれる時その中心である本部施設の整備ができた事は、町消防力強化の上に喜ばしき限りである。

この機会に町消防施設の増強状況を、昭和三十五年度の実績及び本年度の計画について記してみたい。

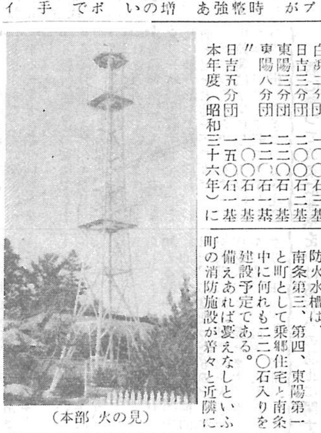
昭和三十五年度新設は、ポンプ二台、防火水槽十二基でその内訳は
東陽五分団　野口式25HP手引動力ホンプ　一台
東陽二分団（桑郷）チャイアント式27HP小型動力ポンプ　一台

防火水槽は
南条三分団　二〇〇石一基
日吉六分団　一五〇石二基
白浜二分団　一〇〇石三基
日吉三分団　二〇〇石二基
東陽三分団　二二〇石一基
東陽八分団　二二〇石一基
″　一〇〇石一基
日吉五分団　一五〇石一基

本年度（昭和三十六年）には
日吉第二分団　市原式58HP手引動力ポンプ　一台
東陽第三分団　自走式70HPガソリンポンプ　一台
が購入済であり、今後の計画としては、
東陽第二分団　自動車ポンプ
白浜第一分団　小型動力ポンプ

防火水槽は、南条第三、第四、東陽第一と町として乗郷住宅と南条中に何れも二二〇石入りを建設予定である。

町の消防施設が着々と近隣には比類なく完備され、また人的には千葉県消防学校の開設により定期的に団員教養訓練が実施され両者相俟って、無火災町の出現を町民の斉しく枕を高くして眠られる境地の速かな実現を期待する。


（本部　火の見）

恐るべき寄生虫

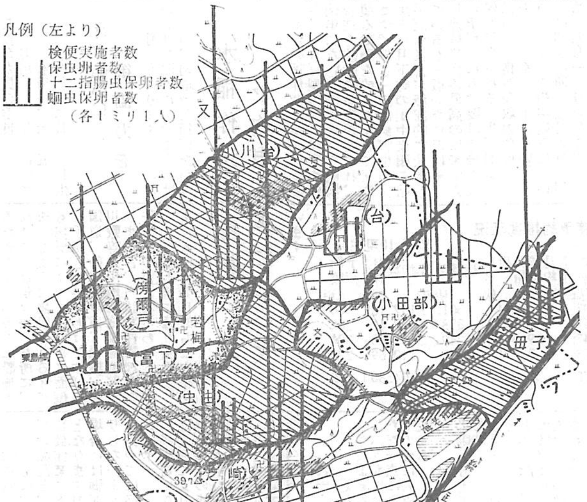
実態速報

東陽病院　**鈴木和夫**

農村から寄生虫病を追い出すこと、之は農村の保健対策上大変重大な分野を占めて居り、全国の町村当局、御医者さん方が、頭を痛めて居る所です。此の様な観点から、南条地区の住民検診に検便を加へて、その実態を調べて見ました。極く簡単な各地区別の結果が出ましたので、此処に速報し皆様と共に考へて見度く思います。

検便を行った方は、総数五〇八名で、その内二一一名（四二%）の人が寄生虫卵の保有者でした。そして七一名（一四%）の人に蛔虫卵が見られ一五二名（三〇%）の人に十二指腸虫の卵を認めました。更に四一名（八%）の人が、東洋毛様線虫、鞭虫、蟯虫等の虫卵所有者で、その内の数名は腸内に、一時新聞で問題となった「粉ダニ」が寄生して居ります。各地区別の保有率を御覧になって頂き度いと思います。富下、小田部傍示戸、虫生地区の人達は、二人に一人がその人の腸内に寄生虫を飼って居ることになります。更に地区全般に亘って十二指腸虫卵の保有率が、蛔虫卵の夫に比べて、甚だ高率を示して居ります。蛔虫に比べて十二指腸虫の方がその人の身体に重大な障害を与へる点から、大いに注目して行かなければ不可ないと考へます。持参して頂いた問診表を見ましても「胸がドキドキする」「いきぎれがする」「身体がだるい」「めまい」「耳鳴り」等の訴へが甚だ多く見られ心臓病や高血圧の人は別として此の様な訴へを持つ大部分の人は、十二指腸虫症だと云っても過言は無い様です。サントニン、セメンエンが万能の駆虫薬の様に誤解して居る方を見受けます。之等の薬で十二指腸虫は駆除出来ません。十二指腸虫の幼虫の感染は、手足の皮膚からと、幼虫の附着した野菜を食べることに依って行はれます。田畑に出る時はだしで歩かぬこと、手甲をはめること、生野菜を食べぬことが感染を防ぐ方法ですが、仲々たやすいことではありません。しかし感染の起る時期は、春五月頃、秋十月頃の年二回であると云はれて居りますから、春秋二回検便を励行することが、予防の最良の手段であると考へられます。それから個人々々がポツリポツリと駆虫薬を服んでもその地区全体の寄生率を減らさなければ、直ぐに亦新しい感染が起り何時迄経っても賽の河原の石積みを繰返すだけであって、一番積極的な手段は、地区住民が一勢に集団駆虫を行ふことであることを此の際の結論として申し上げ健康な光町を作り上げる為皆様方に充分考慮して頂こうと思います。

		保虫卵者		蛔虫		十二指腸虫		その他	
	人	人	%	人	%	人	%	人	%
母子	53	21	39·6	7	13·2	13	21·5	2	3·7
小田部	66	35	53·0	9	13·6	21	31·8	7	10·6
台	50	19	38·0	11	22·3	9	18·0	2	4·0
小川台	74	26	35·0	10	13·5	20	27·0	5	6·7
傍示戸	37	18	48·5	11	29·7	17	45·8	4	10·8
富下	50	31	62·0	11	22·1	20	40·0	15	30·0
虫生	49	21	42·8	11	22·4	12	24·4	6	12·2
芝崎	128	40	31·2	1		40	31·2	――	
合計	508		41.5%		14%		29.9%		



町勢要覧の発刊について

光町が誕生して七年余り、その間本紙にて或は有線放送をもって、町勢並びに出来事をお知らせいたしつつありますが、今度昭和三十五年度を基準とし過去数年の町の推移及び要覧第一号という事も考慮いたし、合併前からの旧村の沿革、人物等も収録して町勢要覧を編集、皆さんのお手許に近くお届けする計画をたてました。

本紙同様皆さんに親しく御覧戴きたいと存じます。

＜編集後記＞

「炎天に少し生れし日かげかな」虚子の句にあります。毎日の暑さに、道を歩けば少しの日かげもほしい今日この頃です。ひでりに不作なしの言葉のとおり、今年も豊作でしょうし、それを願っております。五年連続豊作が今では平年作となりつつあります。

「ひかり」の編集も、マンネリズムにあぐらをかくことのないよう、皆様に親しまれ、待たれる広報になるよう、編集子一同努めております。

町の広報ですから、皆様の建設的な御意見はどしどし取り入れたいと思います。御意見は責任を負う意味で必ず住所氏名を御明記下さい。紙上匿名御希望の方はその旨お申出願います。